

管理課 課長

浅沼 亮平

「会社を首肯したら」

その思いを胸に、日々業務に臨む管理課課長の浅沼亮平。株式会社ここみケアへ入社したのは、2008年（平成20年）6月だった。以降、真摯な姿勢で業務に取り組んできた浅沼は入社経緯や若い世代へのメッセージを聞きながら、仲間とともにさらなる高みを目指す姿を追う。

二度目の挑戦で掴んだ採用の切符

実は、専門学校在籍時にここみケアの採用試験に落ちてしまった浅沼。別企業で介護の仕事に就いたが、2週間で退職してしまっただが、「自分には介護の仕事は合わないのだろうか……」と悩みながらも、求人広告の冊子を手にとったとき、目に留まったのがここみケアだったのだ。もう一度挑戦してみたいと思い、専門学校の先生に相談したところ背中を押され、思い切って応募したのである。

「これで駄目なら介護の世界は

諦めようと考えていました。採用が決まったときには嬉しくて、救われた思いがしたものです。本当に感謝しています」。

こうして浅沼は、ここみケアの一員となったのだ。

上司や先輩に恵まれて

入社後はデイサービスの介護職員として現場に入った。その頃はユニフォームの支給制度がなかったため、自分なりのポリシーで私服のズボンを履いていたが、当時の施設長だった菅原（現、部長）に毎日のように直されてしまっただが、そのたびにストレスを感じていたものの、あきらめることなく自分に目を向けてくれる菅原の姿勢に触れるうち、服装を直すようになり、行動も変わっていったという。

また、はじめは稼ぐことが楽しく、そこにやりがいを感じていた。その意識が変わりはじめたのは2年が過ぎた頃。見習いたいと思う先輩や上司に出会い、「早く追いつ

きたい」という気落ちが芽生えたのだ。そこで「役職に就いて責任のある仕事をする」と目標を立て、お客様や会社から信頼を勝ち取るためにはどう行動すればよいのか考えるようになった。20代後半で施設長クラスのポジションに就いていた先輩に、アドバイスを求めたこともある。

「やってやれないことはないよ。行動に移すために、挑戦する気持ちを強く持つことが大切だよ」。

その言葉を今でも心に刻んでいる。以降は憧れの先輩に追いつくため、向上心を持ってより一層仕事に励んだのだ。



先輩の指摘が自分を 見直すきっかけに

今まで大きな失敗はしていないとはいえ、注意を受けて落ち込んだ経験は何度かある。忘れられないのは、入社から3年目で主任に昇格した頃、先輩から受けた指摘だ。耳が遠いお客様の対応をしていたとき、大きな声で話して自分なりにコミュニケーションを図っていたつもりだった。それが周りからすれば迷惑でしかなく、筆談や場所を変えろといった配慮をすべきではないかと注意されたのだ。正しい行動はもちろん、周囲への配慮も必要なのだと学び、自身の言動を見直すきっかけになったという。

大きな仕事に 強く感じたやりがい

入社から6年が経った27歳のときにデイサービス施設長に就任し、翌年には宮城県内のデイサービスマネージャーとなった浅沼。



ここ何年かの業務の中で印象に残っているのは、社内で使用していた介護ソフトの全社的な入れ替え作業を一手に担ったことだ。システムを変更する理由を落とし込み、操作方法を指導した。悩みの種だったのは、施設ごとに入れ替えの進捗が異なったことだ。システムを苦手に思う人の不安や細かな質問にも対応し、勉強を重ねてフォローに力を入れた結果、1年ほどで本運用への切り替えに成功したのである。その実績が買われ、設立された管理課の課長に32歳で就任し、現在は社内システム運用や行政への申請関連の業務などに携わっている。忙しくも充実した毎日だ。

「ここみケアは、挑戦する気持ち

を汲み取ってくれる会社です。若い世代の人たちには、自分がなぜこの会社に入ったのか、どうして介護の仕事に就きたいと思ったのか、そのときの熱い気持ちを忘れないでほしいと思っています。私たちはその気持ちに応えていくよう、努力していきます。どんどん気持ちをぶつけてきてください」。



浅沼課長ってどんな人？

今号の巻頭インタビューを飾った浅沼課長をよく知る3名から、もっと知りたい浅沼課長の魅力を伺いました！

Q1. 浅沼課長を一言で表すと？

正義の味方

Q2. 浅沼課長の「すごいところ」を教えてください！

的確な答えが返ってくるところ。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

事業所、スタッフのことを第一に考えてくれ、いつも親身になって相談に乗ってくれます。



ここさいむらつむぎ
管理者・係長代理
さかもと こうへい
坂本 孝平さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつも会社全体、つむぎの経営に尽力していただきありがとうございます。これからもよろしくをお願いします。

Q1. 浅沼課長を一言で表すと？

面倒見のいい、こわもて兄ちゃん



グループホーム
ここさいむら
泉中央
管理者・係長代理
やまや ゆうた
山谷 裕太さん

Q2. 浅沼課長の「すごいところ」を教えてください！

- ・仕事に対して、自分から遠回りの道を選んでも確実な道を選んで進むところ。
- ・職員への愛が強いところ。
- ・お酒が強いところ。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

仕事の思い出もたくさんありますが、プライベートでお酒を飲みながら、お互いの介護に対する思いや仕事について語り合ったことです。

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつもありがとうございます！仕事の相談など、これからも全力で頼らせていただきます！飲みすぎには注意してください！

Q1. 浅沼課長を一言で表すと？

漢

Q2. 浅沼課長の「すごいところ」を教えてください！

私がキャパオーバーしているときに、それを察して、自分で対応できることは対応してくれるところ。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

子どもや私の体調不良で仕事を休むことも多いのですが、理解してくださっています。そうしたときに、パソコンを運んでくださったこともあり、とても感謝しております。



本社・管理課
いがらし めぐみ
五十嵐 めぐ美さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

普段から連絡が早く、困ったときにもすぐに連絡をいただけるので大変助かっています。これからもよろしく申し上げます。



笑顔を作る

賞賛・承認大作戦

通信
vol. 3

毎月皆さんの投稿・投票によって行っている笑顔を作る賞賛・承認大作戦。
見事1位を獲得した事業所について、『Relationここみ』でも特集します！
今回は2023年2月に利用者様とびきりの笑顔にした、すてきなイベントにまつわる取り組みをご紹介します！
工夫した点や取り組みの内容について、上村さんにも伺いました♪

遅れてやってきた鬼！カンタキの節分

看護小規模多機能ここさいむら小田原、スタッフ一同
実施日：2023年2月16日

コロナで1月の行事は中止、2月3日の節分を見送り、久しぶりの行事となりました。

午前中は、女性利用者様と恵方巻きを模したロールケーキ作りを行いました。「わたしにできるかしら」と最初は不安な思いをされつつも、生まれれば、ばっちり仕上げてくださいました♪

午後は「豆まき！」
皆で新聞紙で作った豆を鬼に投げ、今年の健康を祈りました。



その他、おやつまでの時間に
チーム対抗で輪投げをしました。

利用者様の皆さん、
とびきりの笑顔でした♪

業務調整、写真撮影、
盛り上げ役など
職員一丸となって行事を
遂行できて、
職員の皆さんに感謝です。

鬼役をやってくれた清野主任！

久しぶりの行事を思う存分楽しみ、
おやつには午前中に作ったロールケーキを食べました。

来月の行事もよろしくお願いいたします！

この取り組みについて、投稿してくれた上村さんにも伺いました！

特に工夫した点は？

準備の段階から利用者様と一緒に協力して取り組んだこと

- ・豆まき用の豆は、利用者様と一緒に新聞紙を丸めたものに黒いテープを巻き付けて作成！
- ・恵方巻きに見立てたロールケーキは、ココアパウダーを使いながら見た目にもこだわりを！
- ・ただ豆まきをするだけではなく、皆で楽しめる工夫として、輪投げも実施！

普段ゲームに参加されないような方も、楽しんでいらっしゃいました♪

実際にやってみた感想を教えてください！

豆まきの際、最初は「当てていいのかな」と遠慮がちだった利用者様も、皆でやっていくうちに、だんだんと笑顔が溢れてきて、終始笑顔で過ごされていたのが印象的でした！
コロナ禍の行事の自粛もあり、久しぶりに笑顔で楽しく過ごされている様子を目にし、非常に感慨深く、そして何より嬉しく思いました。
利用者様からも「お家ではできないようなことをここで体験できてすごく嬉しい！」というお言葉もいただくことができました。

行事開催にあたり、皆さん快く協力してくださり感謝しています。忙しい日々ですが、行事1つとっても、協力し合いながら取り組むことができ一体感も感じています。
利用者様の笑顔のため、落ち着ける場所の提供のため、これからも頑張っていきたいと思います！



看護小規模多機能
ここさいむら小田原
介護職員

かみむら あんな
上村 杏奈さん

私の事業所のココが自慢!

宮城県仙台市小田原にある「グループホームここさいむら小田原」は、グループ唯一の長期入所施設です! 利用者さんの“わがまま”を受け入れる介護とはどういったものなのでしょうか。管理者の坂本さんに伺いました!



私が紹介
します!

グループホーム
ここさいむら小田原
管理者・課長代理
さかもと しげあき
坂本 茂明さん

01 「グループホーム ここさいむら小田原」 ってこんなところ!

「家庭的」な介護で笑顔と喜びのある場所に

グループのなかでは唯一の長期入所施設です。利用者さん18名に対して、スタッフ14名で対応しています。2ユニットに分かれており、利用者さんは各ユニット9名、スタッフは各6名です。夜勤専門スタッフが1名おり、1日を通して一人ひとりに適した支援をさせていただいています。



お料理盛り付けのお当番

02 ココが自慢!

新人も経験者も垣根なく話し合える風土

チームの結束力の強さは当事業所の強みだと思います。実は少し前までは新人と経験者の間に壁があり、指導一方の関係性でした。変化のきっかけは、2名の外国人技能実習生を迎えたことです。インドネシアとミャンマーから来ている実習生は、はじめての日本語に苦戦……単語だけで会話するのがやっとという感じでした。外国人への育成はこれまでの方法とはまったく異なります。どのようにして育成するか職員同士で話し合う機会が増え、先輩後輩関係なく意見を出し合える雰囲気を作られていきました。それまでは離職者も多くなりましたが、2年間離職者ゼロを継続しています。外国人技能実習生への教育という共通の課題ができたことで、事業所全体の結束力が高まっていると思います。

03 「他の事業所に負けなし!」 この魅力

おもてなしよりも“わがまま”、あるがまま支援

利用者さん一人ひとりの、その人らしさを大切にしたい支援が当事業所の魅力です。利用者さんの“わがまま”を受け入れて、何がその方にとって満足できることなのかをみんなで話し合っています。“わがまま”という悪いイメージで捉えられますが、私たちは“わがまま”こそがその人の個性なのだと考えています。介護は一步間違えば、利用者さんを置き去りにした自己満足の対応になりがちです。相手が思うことを理解し、欲求をうまく解消してあげることで満足に繋がっていくと思い、日々業務にあたっています。



みんなの笑顔のために

04 今後の目標

登山のように一歩ずつ

「利用者さんもスタッフもどちらも幸せに」というのが一番の目標です。趣味である登山では、頂上にたどり着く計画を立ててから登ります。仕事においても同じで、目標を立てて取り組むことが重要です。スタッフにも山登りのように一緒に目標を立てて、一つひとつ積み上げていってほしいと期待しています。最終的にはその一人ひとりの取り組みが、大きな目標達成に貢献していることを感じてもらえると思います。

05 一緒に働く皆さんの メッセージ

土となり養分となって、スタッフを輝かせたい

利用者さんのことを考え、様々な意見を出して下さることに本当に感謝しています。投げ出す人がいないというのは、周りがサポートできている証だと思います。利用者さんの症状は多種多様で、大きなストレスや、やり場のない苛立ちに直面することも多いでしょう。そうしたなかで、私は皆さんを支える土台としてあり続けたいと思っています。皆さんがきれいな花として咲くことができるようにサポートします。もしここで得られたものがあれば、周りの方へも分けてあげてください!



みんなで元気に朝の体操



主役はわたしよ!

この春、 はじめます! / はじめました!

だんだん日が長くなり、どこか気持ちも前向きになる季節。
新しいことを始めたり、目標を掲げたりするにはぴったりですね!
皆さんはこの春、何を始めますか?

料理を頑張ります!

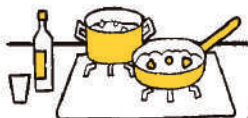
3月の結婚式に向けてダイエットしていたため、最近は質素なダイエット食ばかり食べていました。その反動で手の凝った料理が食べたくなり、YouTubeで料理の動画を観て勉強していました!結婚式が終わったら食欲を爆発させる予定なので、春からはおいしいごはんをたくさん作って食べたいと思います!

目標

毎日元気に仕事ができるよう、栄養バランスを考えた食事を心がけたいと思います!利用者さんの中にも料理上手な方がいらっしゃるので、コツを教えていただこうと思います。



訪問看護ステーション
sora
看護師
こすぎ さき
小杉 咲希さん



ゴルフのコースデビューをしたい!

以前から興味はありましたが、長年の友人に誘われたこともあり、思い切ってスクールに通い始めました。ゴルフは単なる個人スポーツではなく、エチケットやマナーを重んじ相手を思いやることや礼儀が大事だと聞き、人間としても成長できると思いました。

目標

ほんの少しの体、顔の動きや向きが違うだけで、ボールの飛び方、方向が変わったり空振りしたりと、とても難しいですが、スクールで開催されているコンペに参加できるように上達したいと思います。



小規模多機能
ここさいむら泉中央
主任
さとう かずこ
佐藤 和子さん



家庭菜園を成功させる!

これまでは家族が育てた野菜をもらっているだけでしたが、今年から私と姉が担当することになりました。2人とも野菜作り初心者なので、手探り状態ですが協力して頑張りたいと思います。

目標

過去に何回かプランター菜園を失敗しているので、今年こそは事前に本を読むなど、勉強して臨みたいと思っています。目標は好物のズッキーニとスナップエンドウを好きだけ食べることです。



フォルテデイサービス
事務員・介護職員
まつぎ さちえ
松崎 幸恵さん



娘に手料理を振る舞えるようにしたい!

私には1月で1歳になった娘がいます。食べることが大好きで、ママの手料理を食べているときの娘の笑顔は家族の癒しと幸せになっています。ママに負けないくらいおいしい食事を作り、娘には健康で大きく成長してほしいと思うので、手料理を頑張ります。仕事面ではより質の高いサービスを継続して提供できるよう日々努力を重ねていきます!上司や先輩、同僚スタッフから日々学ぶことが多く、お客様が喜ぶ姿を見て、私もその一助になりたいと思いました。

目標

プライベートでは家族思いのパパを目指します!仕事ではリーダーシップを取ってスタッフの連携を図り、小田原デイサービス一丸となって頑張っていきたいと思っています。



ここさいむら小田原
デイサービス
生活相談員
おぎわらしゅん
荻原 駿さん